

## APIを通じたNW開放

### 米VerizonとEricsson、開発者への5G Network API提供に関する覚書を締結

両社は、本提携を通じて以下の取り組みを行う予定。

- Ericssonが2022年7月に買収したVonageの **Vonage Communications Platform(VCP)を使用してVerizonネットワークを公開**する
- 新たなAPIの開発で協力する

両社は、本提携は、開発者が安全で信頼性の高い革新的なアプリケーションを構築するために活用できるNetwork APIのエコシステムを構築するための重要なステップだと述べている。Verizonは、数年前からAPIを提供しているが、**Vonageとの提携により**、ビジネスアプリケーションや生産性向上ツールとのシームレスな統合が提供され、より**広範な開発者コミュニティがNetwork APIを利用可能**となると述べている。Fierce Wirelessによると、本提携は排他的なものではなく、Verizonは他のアグリゲーターやハイパースケラーともNetwork APIについて協力する計画。Network APIプラットフォームに関しては、独DTもVonageと提携しており、米Dishと英BTはNokiaと提携している。

下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

## NWスライシング

### 英BT、Ericsson、Qualcomm Technologies Inc.が5G SA NWスライシングをトライアル

3社は、モバイルゲームやビデオ会議などの多くの帯域幅を使用するアクティビティにおいて、NWスライシングを利用することで、トラフィックのピーク時でも最適なパフォーマンスを維持できることを実証した。

#### 利用技術

- NWスライシング
- 5G SA NWの一部を特定のユースケースに合わせて動的にパーティション分割する Radio Resource Partitioning
- アプリケーションに応じて端末が複数のスライスに同時接続可能とするURSP(User Equipment Route Selection Policy)

#### 利用端末

- Samsung Galaxy S23 Ultra (Snapdragon 8 Gen 2 for Galaxy Mobile Platform搭載)

#### ユースケース

- モバイルゲーム**：バックグラウンドで負荷が発生した場合でも、1080pの解像度で推奨される25Mbpsを超えるスループットを維持可能なことを実証
- 法人用途**：エンタープライズスライスとeMBB(超高速)スライスを使用して、一貫性のある4Kビデオストリーミングとエンタープライズユースケースを実証

Copyright(C) 2024 KDDI Research, Inc. All Rights Reserved.

## NWスライシング

### オーストリアA1、業界初の5GエッジクラウドNWスライシング試験に成功したと発表

A1は、自社の**商用網において、Nokiaの5GエッジスライシングソリューションをMicrosoft Azure マネージドエッジコンピューティングソリューションに統合した5GエッジクラウドNWスライシングの実証を行った**。NWスライシングは、デバイス-RAN-トランスポート-コア-エッジクラウドアプリケーション全体に実装された。Nokiaの5Gエッジスライシングソリューションは、企業キャンパスや都市環境などの選択したエリアでスライスされたモバイルブロードバンドVPNを提供し、URSP対応スマホを含むすべての4G/5Gデバイスで使用することが可能。

A1は、このソリューションにより、エッジと統合された**安全で信頼性の高い、高性能のエンタープライズVPN サービスを提供**できるようになると期待を示している。

Nokiaは、本ソリューションの対象として、小売、メディア、公益事業、ヘルスケア、運輸などの業界を想定しており、モバイル事業者に新たな収益源を生み出す機会を提供するとしている。

試験では、Azureエッジインフラ上で動作するストリーミングモバイルプラットフォームを使用して、複数のモバイルデバイスからのライブカメラ映像のリアルタイムHDビデオストリーミングするユースケースが実証された。

## 5G活用サービス

### 韓KT、5G、AIなどを活用したアンチドローン事業 立ち上げに向け、KAITUSと提携

KTは、KAITUSと、違法ドローンから主要な国家施設と国民を保護するために使用されるアンチドローンプラットフォームを構築、展開していく目的で提携した。KAITUSは、米国のAIベースのドローンを提供するFortem Technologiesの韓国におけるパートナー。

#### 協力内容

- KAITUSの提供するアンチドローンシステムにKTの5G、AI、セキュリティ技術を組み合わせた高度なアンチドローンプラットフォームの構築
- アンチドローン市場の開拓、拡大
- 主要施設におけるドローン防御システム確立に向けた共同協議体の設立

#### 背景

- これまで韓国では、ドローンを物理的に破壊するハードキル方式や、電波を妨害して無力化するソフトキル方式が主に使われてきたが、落下や爆発による二次被害や、電波妨害などによる味方側の機器の破損などのリスクがある
- こうした欠点があるため、最近では両方式の利点を生かしたAIを活用して網でドローンを捕獲するシステムが注目されている

## 5G活用サービス

### シンガポールSingtel、海運業界向けサービスに 衛星通信を追加

Singtelは、Singtelの船舶向けのデジタルスマートソリューションiSHIPに、SpaceXが開発したStarlinkの通信衛星サービスを追加した。船舶が長距離を移動する際に、遠隔地などで衛星通信サービスに自動で切り替えることで中断のない高品質のネットワークカバレッジを確保する。

また、iSHIPには、5GエッジコンピューティングとクラウドサービスのためのオールインワンオーケストレーションプラットフォームのParagonも含まれている。Singtelは、船舶においてエッジコンピューティングを活用し、オンプレミスまたは陸上でミッションクリティカルなアプリケーションをホストすることで、貴重な帯域幅が解放され、信頼性が向上するとしている。

Singtelは、本サービスにより、船舶オペレーターによるリアルタイムのデータ分析、生産性向上、燃料消費や運航メンテナンスのコスト削減が可能となると述べている。

Singtelは、今回のサービス強化により、海運業者によるAI、5G、エッジコンピューティングなどの先端技術の導入促進と、安全性を向上させるクラウドベースのソリューションへのアクセスを可能とすることを目指している。

## 6G

### 欧米6G推進団体、共同6Gロードマップを発表

米国のNext G Allianceと欧州の6G-IA(6G Smart Networks and Services Industry Association)は、両地域の6G NW開発に関する協力の第一歩として「Beyond 5G & 6G Roadmap」を発表した。本件は、2023年5月に開催されたEU-US貿易技術協議会(TTC)の閣僚会議による要請を受けて作成され、**成果は米国とEU政府が策定するTTC 6G共有ビジョンに反映される予定。**

<ロードマップの主な内容>

#### 2025年以降のEUと米国間の有望な協力分野

1. 持続可能な6Gソリューションの推進
2. 特にミッドバンドからサブTHz帯におけるマイクロエレクトロニクスの使用に関連する半導体研究
3. クラウドソリューションと分散コンピューティング
4. オープンなNWソリューションの研究・技術革新
5. AI：エネルギー効率向上、信頼できるAI/MLなど
6. 信頼性、サイバーセキュリティ、レジリエンスの強化

#### その他の協力分野

- 両地域共通のユースケースの特定
- 特定の産業を対象とした技術概念実証
- 高度な6G技術開発のための人材開発戦略の策定